

群別データ分布図

青木繁伸

1 目的

群別のデータ点を記号で描く。

2 使用法

```
from dot_plot import dot_plot
dot_plot(x, y, accu=0, stp=0, log=False, symmetrical=True, ylab=None, title=None)
```

2.1 引数

x	
y	
log	縦軸を対数目盛りにする
accu	yを階級化するための値。 階級幅ということになるが、記号が重ならないようにするには、大き目の値を設定するとよい。 省略すると適当な値を設定し、その値が出力されるので、不都合ならそれを参考にして調整する。
stp	水平方向に記号を並べるときに、記号が重ならないようにずらすための値。省略すると適当な値を設定し、その値が出力されるので、不都合ならそれを参考にして調整する。
symmetrical	点を左右対称に描く
ylab	縦軸ラベル（デフォルトでは描かない）
title	タイトル（デフォルトでは描かない）

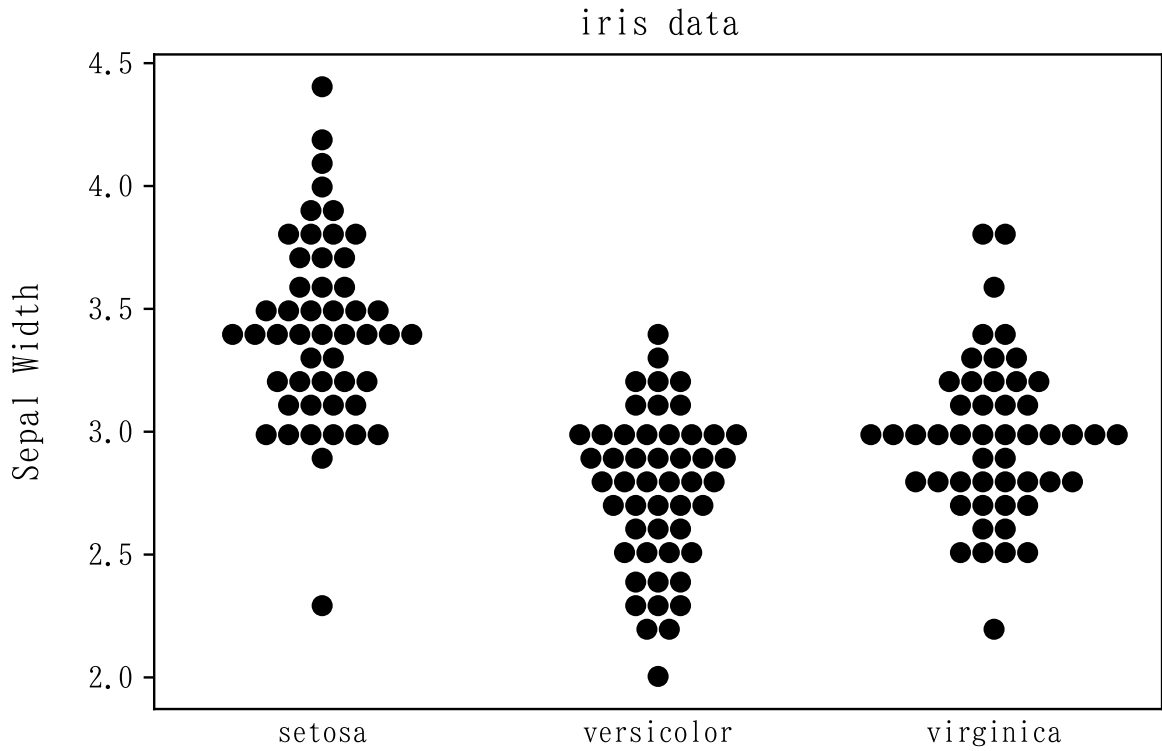
3 使用例

```
import pandas as pd
iris = pd.read_csv("data/iris.csv")
y = iris["sw"]
x = iris["sp"]

import sys
sys.path.append("statlib")
from dot_plot import dot_plot

dot_plot(x, y, ylab="Sepal Width", title="iris data")
```

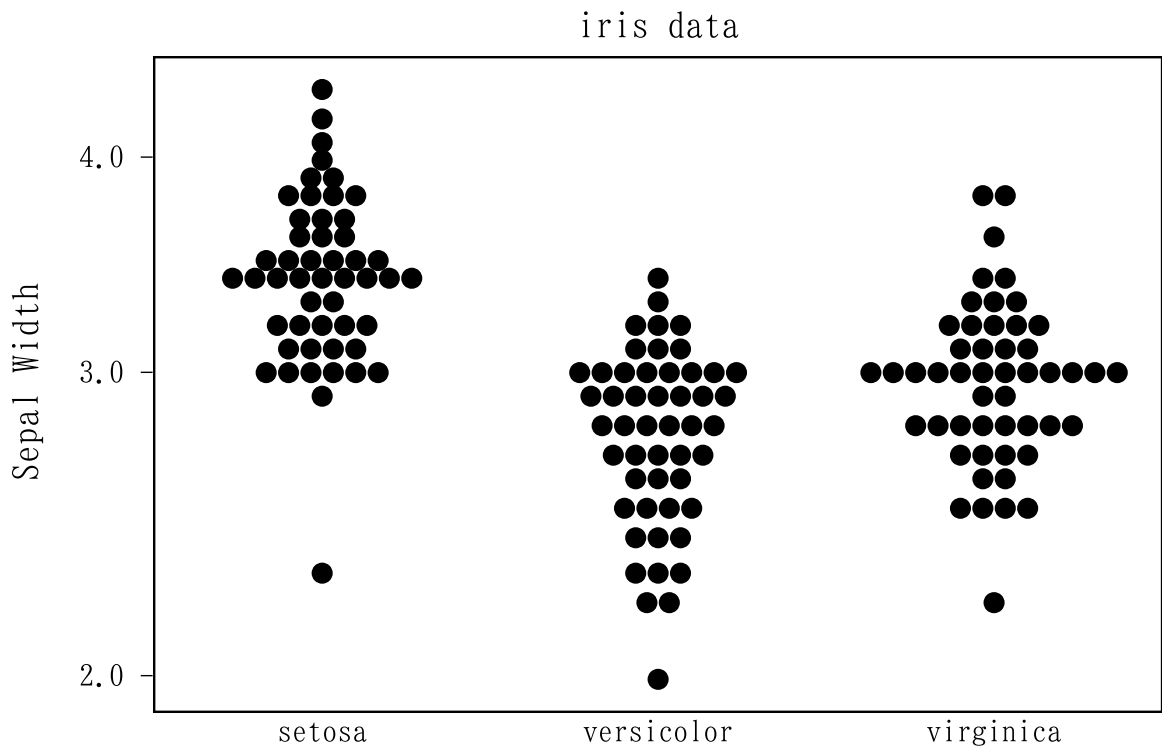
accu = 0.024000000000000004 stp = 0.06666666666666667



縦軸を対数目盛りで描く

```
y = iris["sw"]  
x = iris["sp"]  
dot_plot(x, y, log=True, ylab="Sepal Width", title="iris data")
```

accu = 0.0034242268082220625 stp = 0.06666666666666667



accu, stp を調整してみる。

```
y = iris["sl"]  
x = iris["sp"]  
dot_plot(x, y, accu = 0.05, stp = 0.07)
```

accu = 0.05 stp = 0.07

